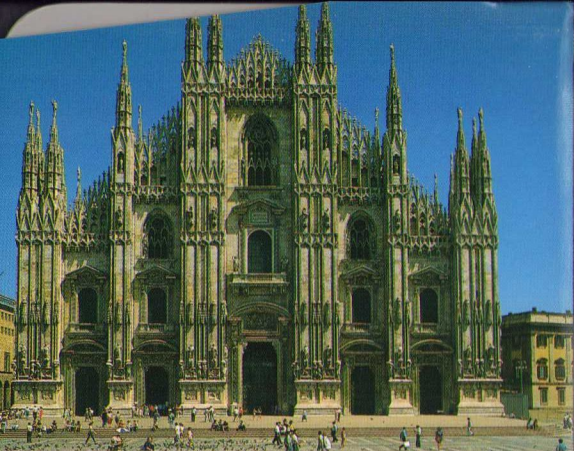




カバーの表▶ヴェネツィアのリオ・デイ・パルカローリにかかる橋ポンテ・デイ・パルカローリのたもとに現存するカーサ・カヴァレッティ（橋の右手前のバルコニーのある建物）

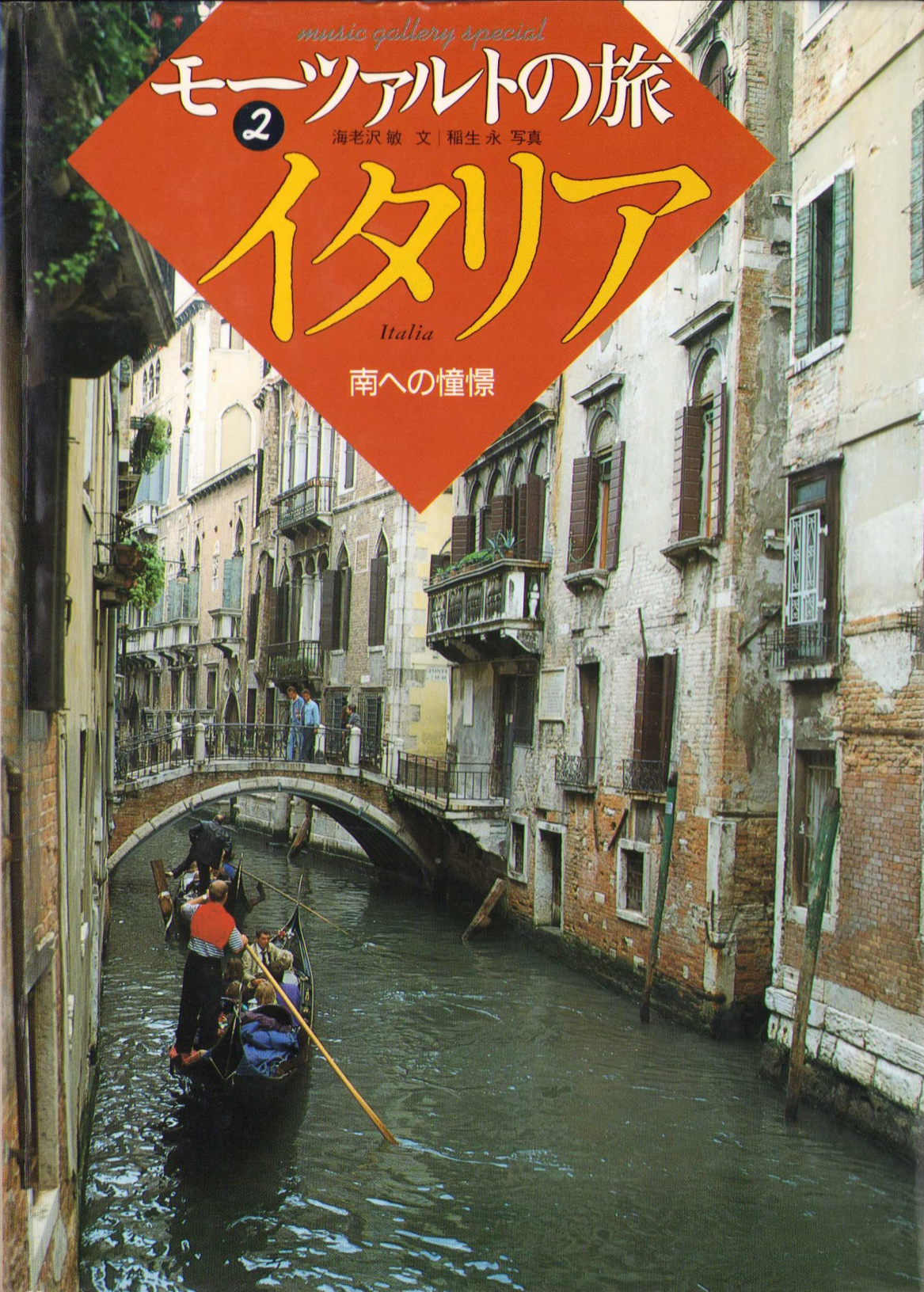
カバーの裏▶インスブルックからブレンナー峠に向かう街道筋にあるグリースの村の教会堂。教会堂の下に見えるのが旧街道。この道を左手に10キロ足らずのぼるとブレンナー峠に達する。上方の道路はブレンナー峠を経て北イタリアに通じる高速道路

カバー折返し▶ミラノのドゥオーモ（大聖堂）の西側正面。火炎式ゴシック様式の壮大なこの大聖堂は、ジャン・ガレアツォ・ヴィスコンティの命により1386年に造営が開始され、15・16世紀の工事を経て、19世紀初頭に完成を見た。

扉▶ヴェローナのモーツァルト（1770年）。サヴェーリオ・ダッラ・ローザによる油絵

music gallery special
モーツァルトの旅
2
海老沢 敏 | 稲生 永 写真
イタリア
Italia

南への憧憬



モーツァルトの旅 2

イタリア

Mozart

南への憧憬

稲生 永 ◆ 写真
海老沢 敏 ◆ 文

音楽之友社



ISBN4-276-38402-8 C0073 P2200E 定価2200円(本体2136円)

music gallery special

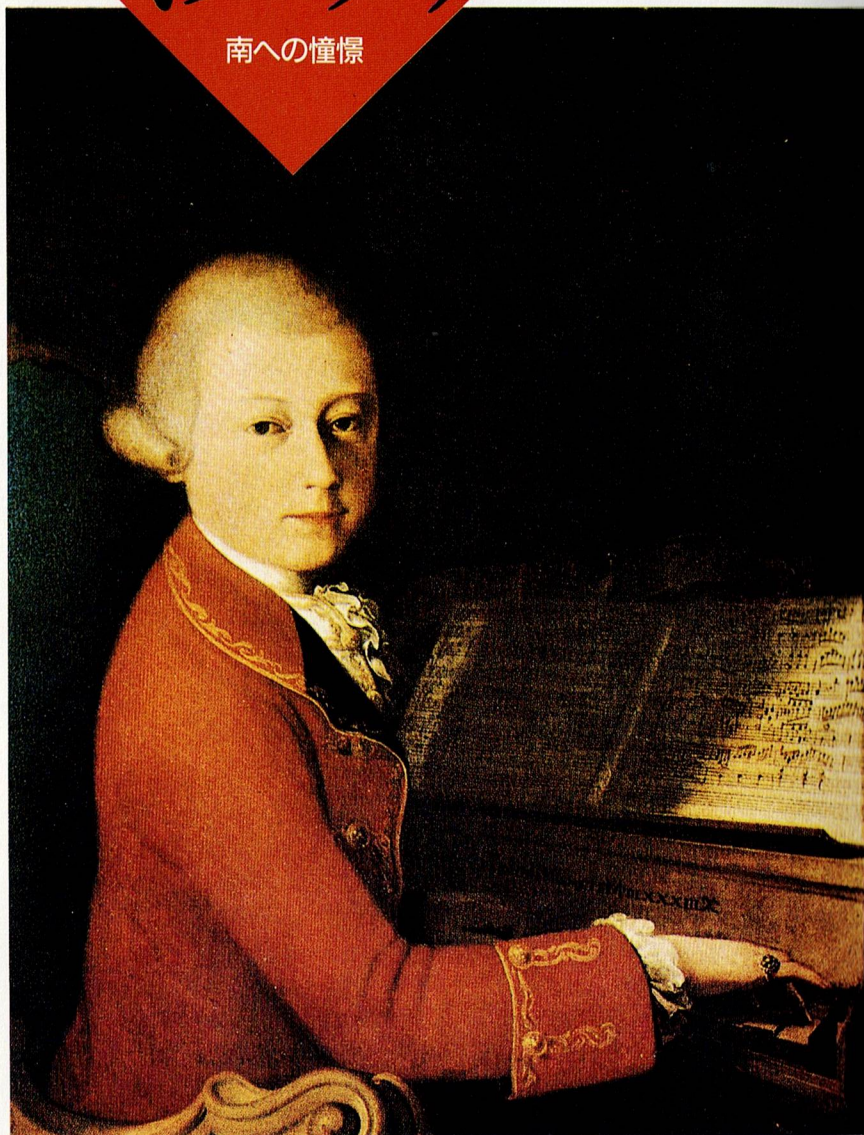
モーツァルトの旅

②

海老沢 敏 文 | 稲生 永 写真

イタリア

南への憧憬



イタリアのモーツァルト

ヘトランスアルバインなる言葉がある。これは「アルプスの彼方の」を意味し、一般にはアルプスの南、イタリアから見ても、アルプスの彼方の北国を指すという。だが、ヘムジカ・トランスアルピナ、ヘアルプスの彼方の音楽とイタリア音楽を呼ぶこともある。そのイタリア音楽は、とりわけ近世以降のヨーロッパの範例、模範なのであった。そしてイタリアの地は、音楽家たちの巡礼聖地にはかならないのであった。

そのイタリアをモーツァルトは、モーツァルト父子は目指すのであった。ヴォルフガング・アマデーウスはわずかに十三歳ではあった。父親のレオポルトにとっては、息子の各地巡歴による音楽修業の最後のステップを意味し、オペラ発祥の地での、そして器楽隆盛の地での総仕上げが狙いなのであった。

ローマ、ボローニヤ、あるいはミラノなど各地での音楽。ヴェローナ、ナポリ、ヴェネツィアなど名だたる町でのオペラ体験等々。このイタリア各地巡訪なしに、後年のモーツァルトの音楽活動はありえなかったであろう。

最初のイタリア旅行につづく、「回」のミラノ滞留。モーツァルトのその後の音楽家としての歩みに欠かすことのできないものではあった。こうして、音楽の本場での少年モーツァルトの変身が果される。もう青年モーツァルトの息吹が感じられるのだ。



ローマ：バルベリーニ広場にあるベルニーニ（1598-1680）作のトリトンの噴水（1637）。右手背後の建物はバルベリーニ宮の北側

アルノ河の対岸から眺めたフィレンツェの旧市街の中心部。前景中央の白い壁面の建物はウフィッツィ美術館。その右奥の鐘塔をもつ建物はヴェッキオ宮殿（旧称シニョリア宮）。中央奥が「花の大聖堂」サンタ・マリア・デル・フィオーレ。その左の白い屋根は洗礼堂のもの

イタリアのモーツァルト—— 3

第一章

アルプスを越えて—— 8

第二章

ロンバルディアの祝祭—— 39

第三章

ボローニャ
フィレンツェ
ローマ
学都と花の都と永遠の都にて—— 57

第四章

ナポリの休日—— 89

第五章

ロヴェレートのモーツァルト—— 105

イタリアの誘惑—— 123

稻生 永

モーツァルト年譜—— 124



モーツァルトのイタリア旅行



- 第一次イタリア旅行：1769年12月13日～1771年3月28日
- 第二次イタリア旅行：1771年8月13日～1771年12月16日
- 第三次イタリア旅行：1772年10月24日～1773年3月13日



海老沢 敏 (えびさわ びん)

1931年生れ。東大文学部卒。現在国立音楽大学学園長。ザルツブルク国際モーツァルテウム財団中央モーツァルト研究所員。モーツァルト、ルソーの研究で知られる。主な著書に『モーツァルトの生涯』、『モーツァルトを聴く』、『モーツァルト像の軌跡』、『モーツァルトは宇宙』、『ルソーと音楽』他多数。

稲生 永 (いのう ひさし)

1932年生れ。東大仏文卒。現在立教大学教授。19・20世紀フランス文学専攻。主な著者に『魔法の地理学——フランス文学紀行』、『写真集・フランスの歴史と文学』、共編著に『事典・現代のフランス』、共編訳書に『ネルヴァル全集』、『ランボー全集』。

地図製作：稲生 永

写真資料協力：Biblioteca del Conservatorio (Bologna)

イタリア政府観光局

music gallery special

モーツァルトの旅 ②

イタリアー南への憧憬

一九九一年十月十日 第一刷発行 ©

●著者——海老沢 敏

●写真——稲生 永

●発行者——浅香 淳

●発行所——株式会社 音楽之友社

〒162 東京都新宿区神楽坂六―三〇

電話 (三三三) 二二一 (代)

受注専用 (三三三) 四二九一

振替 東京七一 一九六二五〇

●写真——木倉 舎

●印刷・製本——共同印刷

●装幀——菊地信義

●レイアウト——押山マサル

ISBN 4-276-38402-8 C 0073

この著作物の全部または一部を権利者に無断で複製 (コピー) することは、著作権の侵害にあたり、著作権法により罰せられます。

Printed in Japan